

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記③

国立市立国立第七小学校

平成27年6月2日 NO.25 (225)



カマキリの幼虫

花ちゃん 「あ！このカマキリは、1年生のSくんが持ってきてくれたものですね。」

オー君 「今ごろ見ることができるのは、幼虫だね。こいつは、小さいといってもオオカマキリの幼虫だね。」

モンタ博士「これは、たぶん2齢幼虫か3齢幼虫だね。」

花ちゃん 「2齢とか3齢とか、何のことですか。」

オー君 「あのね、カマキリは6～7回くらい脱皮をくりかえして、成虫になるんだけど、だいたいのおおきさで何齢かがわかるんだよ。」

モンタ博士「そうなんだ。ある人がカマキリの成長の様子を調べたデータが下の表さ。」

孵化

オオカマキリの成長のしかた(変態日程) 全日数:84～88日

羽化

成虫

齢	1 齢	2 齢	3 齢	4 齢	5 齢	6 齢	終 齢
経過日数	8～22	9～11	7～10	7～12	8～10	11～15	14～18
体長<ミリ>	9～11	15～18	21～23	30～33	40～42	51～54	60～68

5月ころ

6月ころ

7月ころ

8月ころ

花ちゃん 「へえー。なんだかむずかしそうなお話をですね。」

オー君 「そんなことはないよ。カマキリは、強い昆虫で動くものならなんでもギョロリとにらみ、2本の大きなカマでほかの虫をとらえてえさにするんだ。敵ならばカマをふり上げ戦うんだ。」

モンタ博士 「きびしい自然の世界で生きる、カマキリのひみつをさぐってみようね。」

オー君 「そうだよ。カマキリの一生は、波瀾万丈の冒険に満ちているんだ。」

モンタ博士 「カマキリの幼虫は、小さくてとても弱いんだ。雨にぬれて死んでしまったり、他の生き物に食べられてしまったりするんだよ。」

花ちゃん 「どんな生き物に食べられてしまうのですか。」

モンタ博士 「アリ、クモ、カナヘビ、カエル、それから鳥などにも食べられたりするね。」

花ちゃん 「へえー。つまり、まわりは敵ばかりということですね。その中で生き残っていくのは大変なことなんですね。」

オー君 「生き残るのはほんの少しだけなんだ。だから、カマキリの『卵のう』からは、200匹くらいの幼虫がたくさん生まれるんだよ。」

モンタ博士 「200匹の幼虫がぜんぶ成虫になったら、えさはくいつくされて、かえってその昆虫はほろびてしまうことになるんだ。食ったり食われたりする生物のくらしが、実は生物全体のバランスを保つことに役立っているということなのさ。生き物はみんなつながりあっているというわけだね。」

これからも  
カマキリの  
いろいろな  
ひみつをさぐろう！

